

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

現状評価

- PBRが過去5期にわたり1倍を下回っていることから、当社といたしましては「資本コストや株価を意識した経営の実現」に向け、より一層の企業価値向上に取り組んでまいります
- 当社の現状の株主資本コストをCAPM(※)で自社算定すると約4.5%ですが、中長期的に投資家の期待する株主資本コストの目安としてROE 8%の達成を目指します

※【CAPM(資本資産価格モデル)capital asset pricing model】

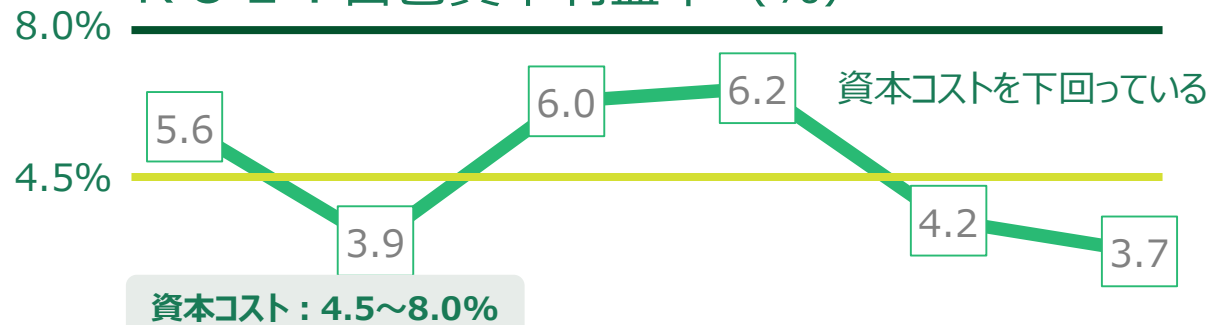
	2020/2	2021/2	2022/2	2023/2	2024/2
営業収益 (百万円)	433,641	439,326	439,740	415,675	425,424
営業利益 (百万円)	10,463	14,037	15,362	11,279	13,257
経常利益 (百万円)	11,380	15,053	16,952	13,069	14,482
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	6,101	9,724	10,647	7,516	6,784
営業利益率 (%)	2.4	3.2	3.5	2.7	3.1
ROE (%)	3.9	6.0	6.2	4.2	3.7
PBR (倍)	0.62	0.66	0.59	0.63	0.58
DOE (%)	1.17	1.23	1.29	1.23	1.18
一株当たり純資産額 (円)	3011.81	3156.74	3340.18	3439.19	3551.29
期末株価 (円)	1,859	2,089	1,975	2,177	2,064

現状評価

● 低PBR要因

ROE：自己資本利益率 (%)

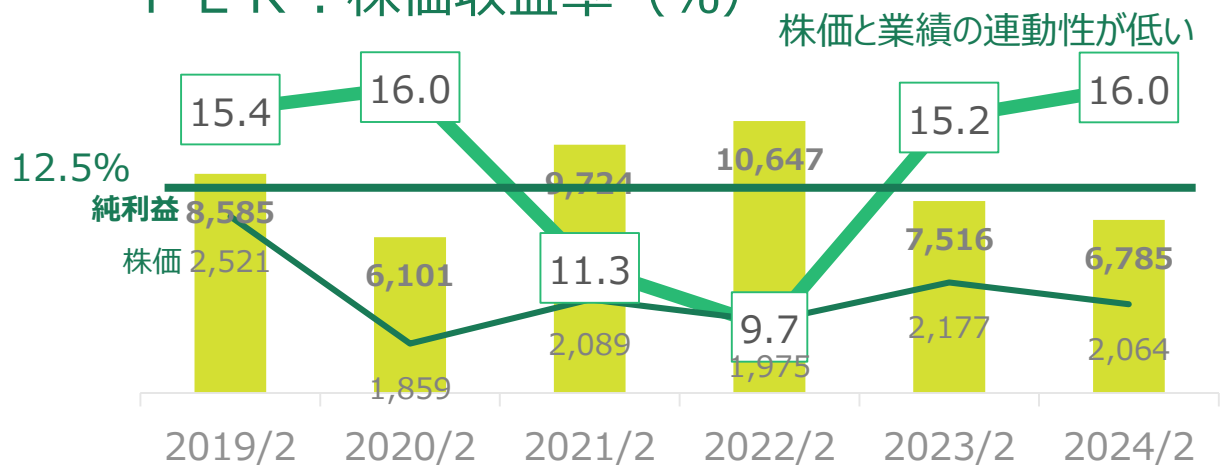
評価：×



2019/2 2020/2 2021/2 2022/2 2023/2 2024/2

PER：株価収益率 (%)

評価：○

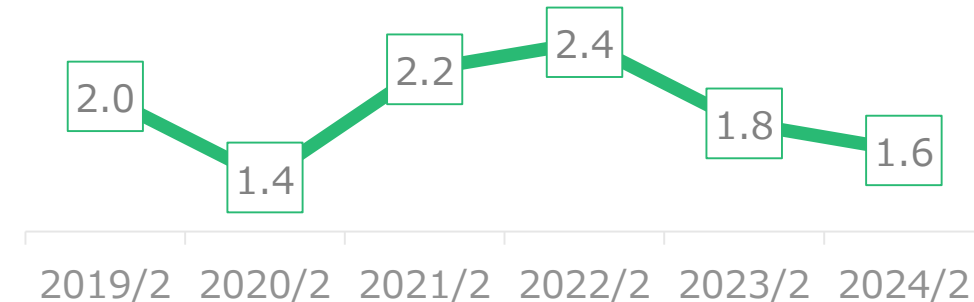


2019/2 2020/2 2021/2 2022/2 2023/2 2024/2

当期純利益率 (%)

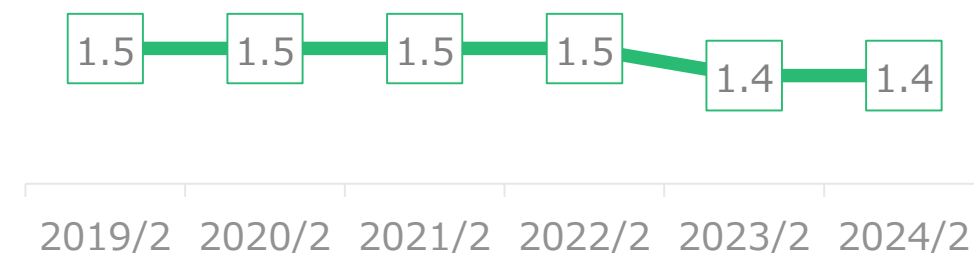
抜本的収益改善が急務

分解



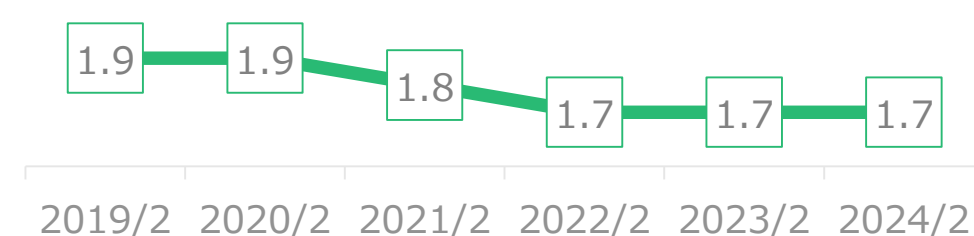
総資産回転率 (%)

資産効率は安定的



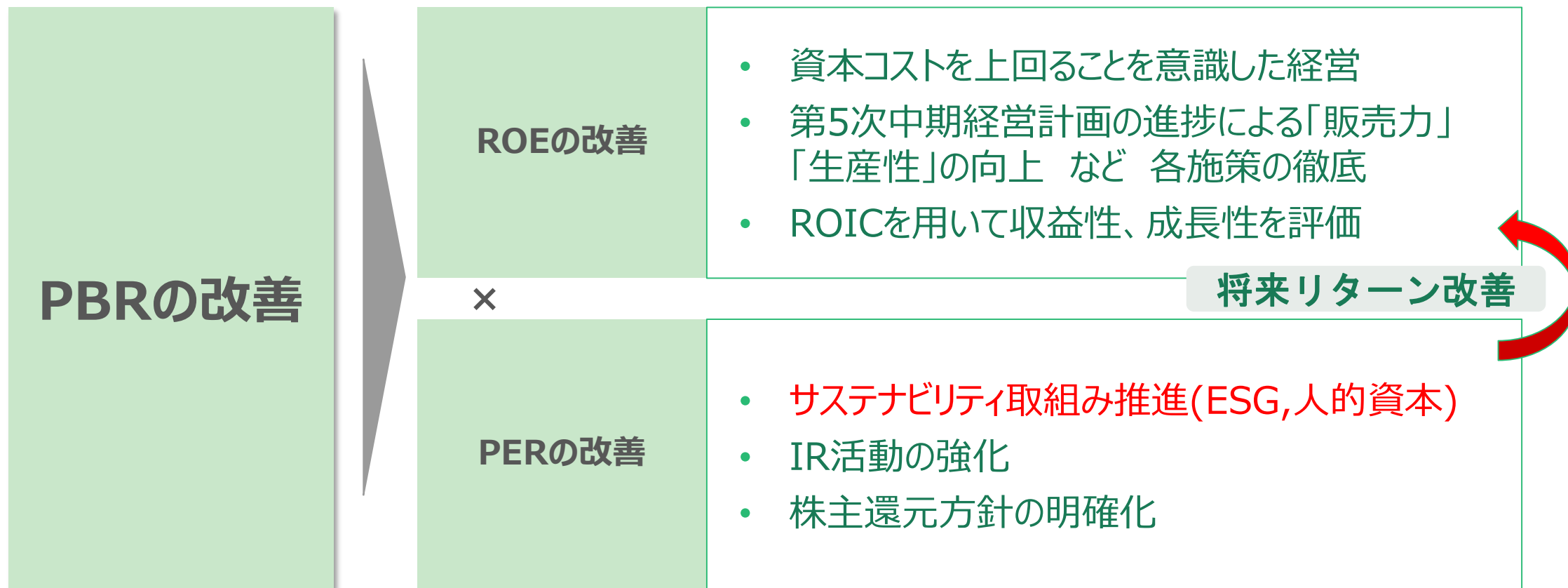
財務レバレッジ (倍)

財務基盤は安定的



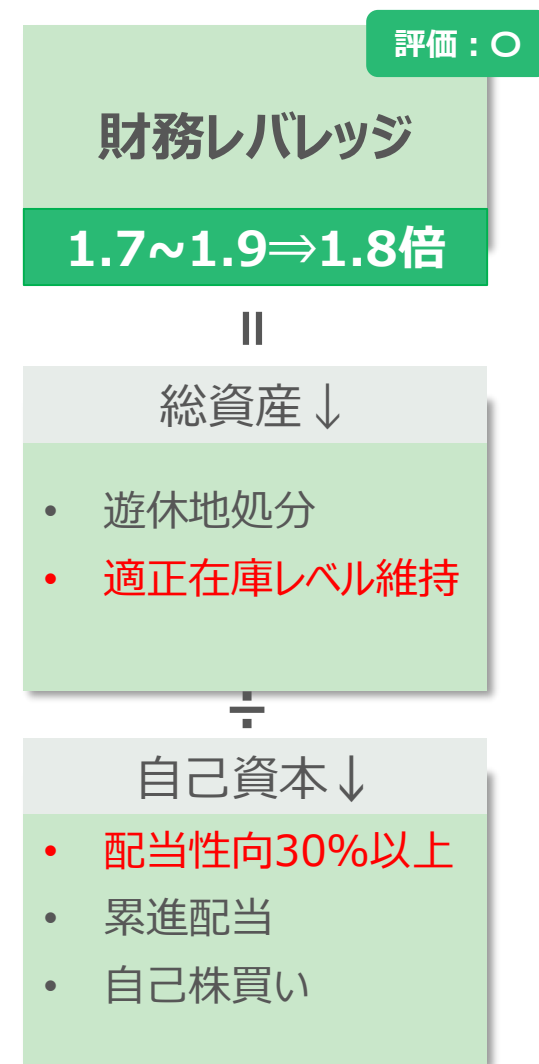
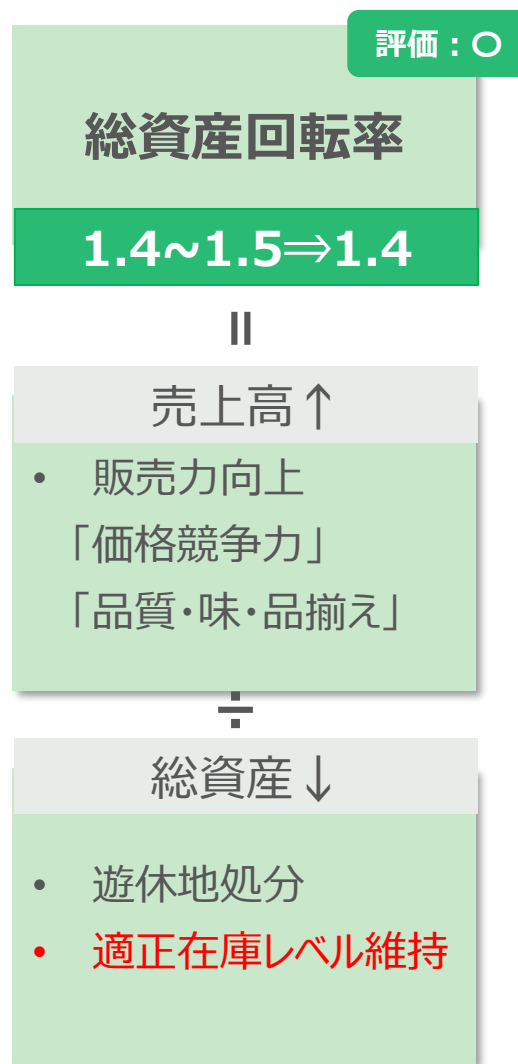
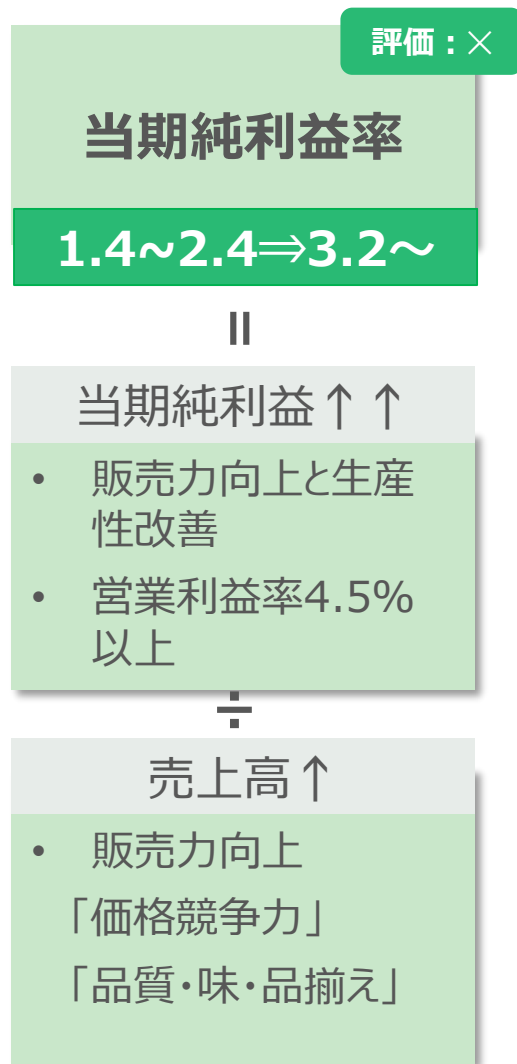
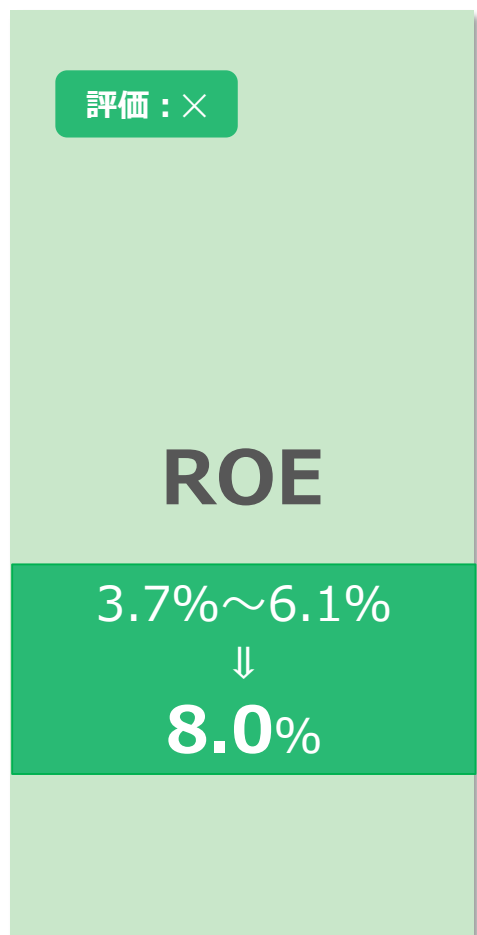
方針・目標

- 2030年の**営業利益率4.5%以上・ROE8%**の達成を目指して、中期経営計画において「販売力の向上」「生産性向上」を進めてまいります
- 株主還元強化を図り、自己株式取得による資本効率向上のほか、積極的なIR活動の実施によりPBR1倍を目指してまいります



課題と対応

- 利益率向上と資本政策によりROE**8.0%**を目指します



株主還元方針

	2021/2	2022/2	2023/2	2024/2	2025/2
当期純利益(百万円)	9,724	10,647	7,516	6,774	9,100
1株当り配当金(円)	38	42	42	42	60
配当性向(%)	20.5	20.7	29.3	32.5	33.9

- 2024年2月期は、中間19円、期末23円 年間42円
- 2025年2月期は、「今回の株主還元方針の見直しに伴い配当性向**30%以上**を株主に還元する」としたことに従い、**中間配当30円、期末配当30円 年間60円**とします。
- 2025年2月期から2027年2月期の配当政策については「**累進配当**」を導入します

財務状況

	2021/2	2022/2	2023/2	2024/2	2025/2 第5次中期
自己資本比率	55.6	58.5	60.0	60.2	財務健全性を意識
ネット有利子負債	64	△45	△46	△49	借入で成長
格付 R&I	A-	A-	A-	A-	格付維持
JCR	A	A	A	A	格付維持

中期キャッシュアロケーション（2025年2月期～2027年2月期）

- 強固な財務基盤を背景に
①収益改善、②株主還元、③借入による積極的成長投資でROE改善



キャッシュアロケーションについては、成長投資を目指した投資を継続しつつ、業績の状況に応じた増配・自己株買いの実施により総還元性向向上に努めます